

アカデミア・アニマリウム「生物多様性フォーラム」発表内容

11月3日（金・祝）

No.	時間	所属	発表者	タイトル・内容
1	13:00 ～ 14:10	国立環境研究所 生物多様性領域室長	五箇 公一	<b>生物多様性異変と新型コロナ</b> 生物多様性は人間という生物の生命維持の必要基盤であるとともに、人間社会の持続的発展のための環境基盤とされています。私たち一人一人の日常生活との結びつきと生物・生態系と人間社会の共生のあり方について議論します。
2	14:20 ～ 15:30	きょうと生物多様性 センター長  京都大学名誉教授	湯本 貴和	<b>生物多様性の宝庫・熱帯雨林</b> 熱帯雨林は地球上の陸地面積の7%を占めているにすぎませんが、生物種全体の半数以上が生息しているといわれます。熱帯雨林の生物をご紹介しますとともに、その現状と私たちの生活のつながりについて一緒に考えましょう。
3	15:40 ～ 16:00		五箇 公一 湯本 貴和	<b>現在人における生物多様性のかかわり方</b> 五箇様と湯本様によるスペシャル対談

※敬称略

11月4日（土）

No.	時間	所属	発表者	タイトル
1	13:15 ～ 13:30	千葉科学大学	4年生学生	展示施設のコツメカワウソにおける来園者の視線の影響
2	13:35 ～ 13:50	茨城大学	4年生学生	来園者の有無によるフクロテナガザルの行動および生理反応への影響
3	13:55 ～ 14:10	茨城大学大学院	修士課程 2年生学生	サシバエの吸血飛来反応に及ぼす奇蹄目ウマ科の忌避行動評価
4	14:25 ～ 14:40	東邦大学	4年生学生	千葉市動物公園のニホンザルにおける食物洗い行動
5	14:45 ～ 15:00	東邦大学	4年生学生	千葉市動物公園内のカラスの生息環境と被害状況
6	15:05 ～ 15:20	北里大学大学院	修士課程 2年生学生	Q.ハシビロコウって・・・動くんですか？ A.動きますー千葉市動物公園における繁殖成功にむけた行動調査ー

11月5日（日）

No.	時間	所属	発表者	タイトル・内容
1	13:15 ～ 14:10	動物園ライター (Zoo Critic)	森 由民	<b>生きた本物 多様性の動物園展示について</b> 本物と言ひ、多様性と言つても、たださまざまな生きた動物を展示すればこと足りるのではなく、動物たちをどのように展示し、何を伝えるかが常に問われます。生息環境をキーワードに、ひとつの例解を述べてみます。
2	14:25 ～ 14:55	Hyper-Naturalist 東京都鳥獣保護管理推進員	木村 幸一郎	<b>千葉県動物公園の大池生物調査 中間報告</b> 千葉県動物公園の大池には、千葉県では希少となった生物の生息が確認されていますが、外来種の影響も見逃せません。その現状を知り、今後の保全に向けて現在までにわかったこと、今後どうしていくか、をお話したいと思います。
3	15:00 ～ 15:15		RGEEA 研究助手/専門学校生	<b>大池における罟による捕獲効率の違いについて</b>

※敬称略